

デジタル・イメージング技術部会 講演要旨

開催日：平成26年9月8日（月） <2014-2>

テーマ：「綴プロジェクト活動、制作フロー紹介」

講演者：勝間 眞 氏（キヤノン(株) インクジェット事業本部

インクジェットデバイス開発センター 上席担当部長)

屏風や襷絵といった日本古来の貴重な文化財のなかには、海外へ渡ったものがある。また国内にあっても劣化防止や国の定めにより、限られた期間しか私たちが目にすることができない作品が数多く存在する。このような文化財を高度の記録技術で再現し広く一般に公開することができればその利点は大きい。キヤノンは、特定非営利活動法人京都文化協会と共同で文化財を複製する「綴り（つづり）文化財未来継承プロジェクト」を2007年3月より発足し活動を進めている。本講演では、「綴プロジェクト」の活動概要と制作技術について制作フローを中心に、入力工程、色合わせ工程、出力工程、金箔加工工程について紹介する。また制作機材は、一部自動制御雲台を除き全てキヤノンの現行製品で行ない、プロジェクト専用の機材制御ソフト、画像処理ソフトを独自に開発したシステム構成となっている。

■制作フロー：

1. 入力 高精細デジタルデータの取得
2. 色合わせ 高精度なカラーマッチングシステム
3. 出力 デジタルデータの印刷
4. 金箔 「箔」伝統工芸の技により再現
5. 表装 京で鍛えられた技術

■参考情報：

- ・ キヤノン 綴プロジェクトトップページ
<http://canon.jp/tsuzuri/>
- ・ 綴(TSUZURI)文化財継承未来プロジェクト
<http://tsuzuri.kyo-bunka.or.jp/tsuzuri/>